平成３１年４月 第１回定例庁議

１　開催日時　平成３１年４月２日（火）午前９時３０分～午前１０時０５分

２　開催場所　本館３階「特別会議室」

３　付議事項（第６条）

⑴ 指示事項（市長の指示、注意等）

　庁議メンバーも新たな顔ぶれで臨むこととなる。各部長それぞれの思いがあると思うが、意欲的に取り組み、新年度の良いスタートを切っていただきたい。庁議の場が市の最高の意思決定機関であるので、部の代表としてだけでなく、部長一人ひとりが市全体のことを考えて、活発に議論していただきたい。

　また、新規採用職員の配置やベテラン職員の異動など、窓口を中心に戦力面で特に厳しい時期が続くと思うが、部長が目配りし、応援体制や事務引継ぎの配慮など庁内で協力しながら対応していただきたい。

⑵ 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

　なし

⑶ 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

　なし

４　その他

① 子育て支援に関するアンケート調査結果報告書について（こども未来部長）

　第二期こども未来計画の策定に向けて、昨年末に実施したアンケートの結果がまとまったのでお知らせする。

② 平成 30 年度 部の重点課題等に関する市長ヒアリングについて（秘書政策課長）

　4 月 15 日（月）から 17 日（水）に実施するので、各部長、課長の出席をお願いする。平成 31 年度の部の重点課題のほか、第二次総合計画重点プロジェクト、第四次行政改革プランの進行管理については、昨年 10 月時点の内容を送付するので修正をお願いする。

・第二次総合計画重点プロジェクトの説明は必要に応じてとのことだが、資料作成だけでは進行管理が形骸化しないか。（副市長）

→第二次総合計画重点プロジェクトは、部の重点課題にも合わせて記載し、進行管理を行うこととしている。各部長においても着実な進捗を図れるよう注意してい

ただきたい。

③ 住民票等のコンビニ交付について（生活環境部長）

マイナンバーカードの利用により、全国のコンビニエンスストアで住民票等が取得できるサービスを 4 月 1 日から開始している。利用時間は 6:30～23:00、2 分程度で手続が可能であり、交付手数料は市役所の窓口よりも 100 円安く設定している。マイナンバーカードの交付率は 2 月現在で 9%程度と、県平均より下回っているため、改めて所属職員への周知をお願いする。

・マイナンバーカードの申請と交付の際の必要書類がわかりにくい。交付率向上のため、申請が簡単にできる点も含めて周知方法に工夫が必要である。（市長）

・市役所窓口の混雑を緩和する目的などから、交付手数料を市役所窓口より安くしているにもかかわらず、その点がアピールされていない。（副市長）

→ホームページによる対応など、今後の周知方法を改善する。

④ 丸亀城石垣復旧の募金箱について（財務課長）

市議会特別委員会からの指摘を受け、現在の紙製の募金箱をプラスチック製とし、南京錠で施錠できるものに改良したので報告する。

・特別委員会からは大きな募金箱の作成についても提案があり、ダンボール製で城の形をした 1.5m 程度の募金箱を作成する予定としているため、今後のイベント等で活用していただきたい。（産業文化部長）

⑤ まるがめサタデー（まるサタ）について（ボートレース事業局次長）

ブルーナイター10 周年を迎える今年度から、毎週土曜日に、老若男女が楽しめるイベント「まるサタ」を実施する。ＤＭＯの候補法人に登録予定である市観光協会との連携により、観光関連などあらゆる業界とも協力しながら取り組んでいく。

4 月 6 日に第 1 回目を開催するので是非来場していただきたい。

⑥ 市観光協会の事務所移転について（産業文化部長）

4 月 1 日より市観光協会の事務所が市役所東側の大手町ビル 2 階に移転したのでお知らせする。

5　副市長から

新しい部長を含め、各部長に改めてのお願いであるが、市議会との対応について懸案事項がある場合は早い段階で対応していくので、アンテナを敏感に張って情報収集に努めていただきたい。

部内では十分なコミュニケーションがとれる風通しの良い組織を目指し、職員の力を結集できるよう、リーダーシップを発揮していただきたい。

庁内意思決定の手続については、少人数の判断で後々トラブルを生じることがな

いよう、政策会議、庁議などの活用に留意していただきたい。

新規採用職員の育成と合わせて、最近窓口でのクレームが増えている印象があるので、改めて接遇の面で部課長からの教育をお願いしたい。

6　教育長から

昨日、教職員の新任式を行い、新規採用者や講師なども合わせて104名が着任した。管理職関係では、新任の校長が城西小、垂水小、栗熊小、教頭は小中学校8名で、そのうち4名が女性の教職員、全員が市内の学校から選出されている。

7　モーターボート競走事業管理者から

平成30年度の売上は約891億円となり、これまでの最高額であった昨年度の885億円を上回ることができた。電話投票の伸びもあるが、各場独自の取組による影響が大きいので、今後も協力をお願いする。

館内には会議室も多くあるが、ボートレース場に来てみてイメージが変わったと言う声もよく聞くので、会議や会合など活用していただきたい。

8　出席状況

⑴　庁議構成者（第５条）

職	氏　名	出欠
市長	梶　正治	○
副市長	徳田善紀	○
教育長	金丸眞明	○
モーターボート競走事業管理者	大林　諭	○
市長公室長	横田拓也	○
総務部長	栗山佳子	○
健康福祉部長	宮本克之	○
こども未来部長	石井克範	○
生活環境部長	小山隆史	○
都市整備部長	谷口信夫	○
産業文化部長	山地幸夫	○
ボートレース事業局次長	矢野浩三	○
教育部長	川田良文	○
消防長	田中道久	○
議会事務局長	渡辺研介	○

(2) 関係職員（第９条）

市長公室職員課長	井　上　孝　敏
総務部財務課長	宮　西　浩　二

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	窪　田　徹　也
市長公室秘書政策課副課長	谷　本　智　子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野　本　政　宏
市長公室秘書政策課主査	宇　野　大志郎